

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	ファッションビジネス論	30	ファッション業界において販売、バイヤーに携わってきた金田真哉氏による授業。 単に衣服を生産し販売するというだけではなく、環境問題もふまえた人々のあり方を考え、服や着こなしに対する消費者のニーズを察知し、新しい考え方や技術に基づいて商品をつくり、効果的な方法で消費者に提案・購入・満足してもらうためのビジネスである事を理解する。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	モード史 I	30	アパレルメーカーにおいてパターンメーカー業務を経験している金原陽子氏による授業。 ・自己表現の手段としての『衣服』であるが、その時々々の社会環境や生活者の思いが表現されたツールでもある。紐解きながら、衣服を再確認する。・過去のテキスタイル技法、縫製技法などを知る。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	モード史 II	30	アパレルメーカーにおいてパターンメーカー業務を経験している金原陽子氏による授業。 ・過去のトレンドが現在のトレンドのベースになることも少なくない。過去をひも解き、現在を知り、近未来のトレンドを予見してみる考察力を養う。・得た知識をコーディネート表現に活用出来る。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	ファッションブランド研究 I	30	ファッション業界においてファッションデザイナーとして活躍している時田智弘氏による授業。 能動的に物事を進める力を養う。 リサーチ力、コラージュ制作などクリエイティビティを養う。 パソコンを使って、アナログ的な手法を使って等々的な方法を考えて進める。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	ファッションブランド研究 II	30	ファッション業界においてファッションデザイナーとして活躍している時田智弘氏による授業。 1年次のリサーチ、コラージュ作りで培った能力を2年次ではクオリティのアップ、よりビジネスを意識して企画、テーマを練って独自の発想力を養う。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	マーケティングリサーチ	30	企業内でマーケティング部門に所属する王屋香美氏の授業。 感性マーケティング・・・共感するセンスを磨く（入門編） ・商品やサービスの目的を理解し、マーケティングの感性を育てる。 ・取り巻く環境、市場（企業）の動き、生活者の意識の変化やニーズに気づく力を養う。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	セールスプロモーション II	30	デザイン業界で広告デザインに携わっていた鳥羽均氏による授業。 店舗出店の際に必要なとされる販売促進ツールのひとつポスター、チラシのデザインを制作する。ショップコンセプトが反映され、より集客につながる表現技法を学ぶ。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	コピーライティング	30	広告業界にてコピーライター、WEBHP作成に携わっている廣住知良氏による授業。個人の“つぶやき”ではなく、作り手、売り手側の立場から発信する言葉を創作する力を身につける。言葉によってファッションに関心を引き付ける方法を考え、創作し、発信するまでの過程を経験する。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	デザイン発想 II	30	デザイン事務所でグラフィックデザイナーを務めた本野智美氏が担当する。 卒業制作展に関わるレイアウト技法習得による平面デザイン表現力を養う。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	VMD	30	VMDインストラクターの資格を持つ繁田 和美氏が担当する。 店舗、売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】について一般的な知識と技術の習得。ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出や陳列を学び、VMDを活かした店舗設計やゾーニングができる。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	ファッションデザイン画 I	30	海外トップブランドにてアシスタント経験のある、SHIZEN DESIGNファッションデザイナー カルフォ香奈氏による授業。 ・アパレルメーカーの様々なシーンで必要となるファッションデザイン画、特に企画や展示会などの資料 作成に欠かせないインギーラスト、生地スワッチ、を理解し描けるようにする。 ・トレンドを意識したアイテムやシルエット、生地感などを意識できるようにする。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	ファッションデザイン画 II	30	ファッション業界にてファッションデザイナーとして活躍している小林真理子氏による授業。 企画提案の為に、具体的にイメージの伝わるデザイン画が描けるようになる。スタイル・素材・ディテールを自由に描き分け、着用イメージをデザイン画にする事が楽しく出来るようになる。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	アパレル素材論 I	30	アパレルメーカーにおいてパターンメーカー業務を行っていた金原陽子氏による授業。 ・アパレル製品の欠くことが出来ない要素である『素材』に興味をもち、以後研鑽していくとする動機付けをする。 ・様々な素材の物性・感性を理解することで、他の教科にも得た知識を活用することが出来る。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	アパレル素材論 II	30	アパレルメーカーにおいてパターンメーカー業務を行っていた金原陽子氏による授業。 ・『素材』は衣服を構成する要素の一つである。物性・感性両面での素材知識を学ぶ。 ・学んだ知識を折り込み、コーディネート提案、アドバイスが出来るようになる。

服飾・家政	ファッションビジネス科	1	色彩学	60	カラーコーディネーターとして教育機関、企業で色彩理論について指導している小長谷由紀子氏による授業。 ファッションビジネスに関連する仕事を遂行する上で必要とされる色彩の基礎や配色、イメージにあったカラーコーディネート習得し、色彩検定3級合格を目指します。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	パーソナルカラー I	30	カラーコーディネーターとして教育機関、企業で色彩理論について指導している小長谷由紀子氏による授業。 ファッションビジネス業界におけるカラーコーディネートの重要性・関連性に基づき、パーソナルカラーの知識を身につけ、自分ブランドからお客様にアドバイスできる力を習得します。パーソナルカラー検定モジュール1(初級レベル)合格を目指します。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	パーソナルカラー II	30	カラーコーディネーターとして教育機関、企業で色彩理論について指導している小長谷由紀子氏による授業。 1年で学んだパーソナルカラーの基礎をベースにし、応用知識の習得と実践的な力を身につけます。他者へのアドバイス方法と販売、サービス業での活用方法の理解を深め、レベルアップした証にパーソナルカラー検定モジュール2(上級レベル)の合格を目指します。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	接客マナー II	60	ファッション業界において社員教育、人事、店舗マネージメントに携わっている山本タ介氏による授業。 販売現場での即戦力となる具体的な応対手法の習得と、全国ロールプレイング大会に向けたトレーニングの実施。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	スタイリングワーク I	30	ファッション業界において販売、バイヤーに携わってきた金田真哉氏による授業。 ファッションコーディネートをする上で必要な、アイテム知識、トレンド知識、色・素材・柄・感覚に視点を置いた論理的なコーディネートの基本を学び自身の表現手法の幅を広げる。2年次の対お客様や芸術的なコーディネート提案へとつなげていく。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	スタイリングワーク II	30	ファッション業界において販売、バイヤーに携わってきた金田真哉氏による授業。 ①トレンドのスタイリングを把握し先を予測する力を養う。 ②ファッションに影響を与えたカウンターカルチャーを知り知識、技術、着こなしの幅を広げる。
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	ヘアメイク実習 I	30	美容業界でヘアメイクアーティストとして活動していた増田 阿貴子氏による授業。 ①ヘアメイクの知識、基本的な技術を学び、ファッションをトータルでスタイリングする力をつける。 ②ファッションに合ったヘアメイクを学び、自己表現をの可能性を広げる。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	ヘアメイク実習 II	30	美容業界でヘアメイクアーティストとして活動していた増田 阿貴子氏による授業。 ・ヘアメイクの応用を習得 ・トータルでイメージを表現、演出する力を習得する
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	ショップマネージメント II	30	公認会計士である松本真由美氏による授業。 店舗責任者・売場責任者として計数管理を応用し、品揃え・仕入・販促企画と連動した売上目標の設定から売上分析ができる
服飾・家政	ファッションビジネス科	1	ビジネスプランニング I	30	企業にてマーケティング、企画立案に従事していた川松タ見子氏による授業。・「問題意識」をベースにした課題発見力を身につける。 ・企画に不可欠な要素とそれを組み立てる方法を理解する。 ・ベーシックな企画書の書き方がわかる。 ・2年次の「ビジネスプランニング」に向けてのヒントを得る。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	ビジネスプランニング II	60	企業にてマーケティング、企画立案に従事していた川松タ見子氏による授業。 ・ビジネスに不可欠な要素を理解し、市場や企業の動向、消費者意識やニーズをとらえること。・実現可能性のあるビジネスプランをまとめ、プレゼンテーション(提案)ができること。・グループワークにより、共通の目標に向け各自役割を持って協力し合えること。
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	実習店舗	60	ファッション業界において販売、バイヤーに携わっている渡辺一弘氏による授業。 店舗企画を基に、デザインファームにおいて商品仕入から販売促進、店舗演出、接客、ショップマネージメントなどの運営における全ての業務を行い、店舗を形成する業務の一連の流れと全体の構成を理解する
服飾・家政	ファッションビジネス科	2	ファッションビジネス特別実習 II	30	ファッション業界において販売、バイヤーに携わってきた金田真哉氏による授業。 ①業界の今を知り吸収する。 ②実体験を通じ視野や価値観を広げる。 ③感性を磨く。
ファッションビジネス科				930	

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	服飾造形 I A	30	ブライダル業界にて、ドレスコーディネーター経験のある武田裕子氏による授業。 作品制作時の作業工程がスムーズに進められる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	服飾造形 I D	90	ytt design&couture代表 ファッションデザイナー、ドレスメーカーの高部葉子氏による授業。 シャツについての構造を理解し、基本的なシャツ製作工程を習得できる。また、習得した構造知識と技術を生かしてデザインに応用する力や主体性のある感性を養うことができる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	服飾造形 I E	90	AULA SEWING SCHOOL代表 戸澤智也子氏による授業。 パンツの基礎と、制作の一連の流れを理解し、パンツ制作を身につける。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	パターンメイキング I	120	アパレルメーカーにて企画MD・パタンナー経験のある石井裕子氏による授業。 基本的なブラウス・スカートのデザインをパターンに落とし込むことができるようになる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	パターンメイキング II	90	AULA SEWING SCHOOL代表 戸澤智也子氏による授業。 パターンメイキングに必要な基礎知識、技術習得。デザインをパターンに落とす力がつく。工業用パターン、グレーディングの基本が理解できる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	パターンメイキング III	90	アパレルメーカーにて企画MD・パタンナー経験のある石井裕子氏による授業。 服の構造についての応用力のある高度な技術を身につけることができる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	ドレーピング I	30	アパレルメーカーにて企画MD・パタンナー経験のある石井裕子氏による授業。立体裁断と平面製図の違いを理解できるようにし、製図時に応用できるようになる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	ドレーピング II	60	AULA SEWING SCHOOL代表 戸澤智也子氏による授業。 ドレーピングでアイテムを組み立てられる技術、能力が身につく。製図を立体で行えるようになる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	アパレルCAD I	30	アパレルメーカーにてCADパタンナー経験のある、ガイア CADパタンナー林民子氏による授業。 CADシステムの理解とアパレル業界での必要性を認識する。CADの操作の基礎を学ぶ。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	アパレルCAD II	30	アパレルメーカーにてCADパタンナー経験のある、ガイア CADパタンナー林民子氏による授業。アパレル業界で就職するにあたっての、CADの重要性の確認。 手で行うパターン作成をスムーズに正確にCAD化する。CADを通して、仲間との協力、自分自身の自信をつける。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	デッサン	30	世界でアート活動をする美術家 森妙子氏による授業。 デッサン・人体について学び、クロッキーを通して具体的に人体を表現する
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	ファッションデザイン画 I A	60	イタリアほか国内のアパレルメーカーにて企画デザイナー経験のある、フリーランスのファッションデザイナー大谷順氏による授業。 ファッションデザイン画の基礎を習得する。 様々な着装・素材・発想表現が出来る。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	ファッションデザイン画 II	60	イタリアほか国内のアパレルメーカーにて企画デザイナー経験のある、フリーランスのファッションデザイナー大谷順氏による授業。 説得力のあるデザイン画を描く力が身に付く。 就職活動で使える画力とセンスが養える。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	ファッションデザイン画 III	60	TOMOHIRO TOKITAファッションデザイナー、フリーランスのファッションクリエイター時田智弘氏による授業。 リサーチした材料からデザインへの発展→デザインの発展 試行錯誤をして、様々な事柄を組み合わせ新たな発想、物を作り出す。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	アパレル素材論 I	60	アパレルメーカーにて企画営業・パタンナー経験のある金原陽子氏による授業。 ・アパレル製品の欠くことが出来ない要素である『素材』に興味をもち、 以後研鑽していこうとする動機付けをする。 ・様々な素材の物性・感性を理解することで、他の教科にも得た知識を活用することができる。

服飾・家政	ファッションデザイン科	2	アパレル素材論Ⅱ	30	アパレルメーカーにて企画営業・パタンナー経験のある金原陽子氏による授業。 『素材』は衣服を構成する要素の一つである。骨組みである他の要素とで、バランスの良い衣服をデザイン表現し、具現化出来る様になる。セールストークに使用出来る知識を身に付ける。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	ファッションビジネス論	30	ファッションライセンシーやアパレルメーカーにて、企画MD・デザイン・生産管理経験のある菅麻紀氏による授業。 ファッションビジネスの基礎知識の理解とファッション産業構造の把握。併せて、専門業務の把握による職種選択の指針とする。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	マーケティング	30	企業内でマーケティング部門に所属する土屋香美氏による授業。 ・モノのデザインだけでなく、「ライフスタイルの提案」シートを作成、発表する。 ・実際の学科の活動：PSAIに向けて、ユーザー視点のマーケティングを組み込んでいく。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	モード史	30	アパレルメーカーにて企画営業・パタンナー経験のある金原陽子氏による授業。 ・自己表現の手段としての『衣服』であるが、その時々々の社会環境や生活者の思いが表現されたツールでもある。紐解きながら、衣服を再確認する。 ・過去のテキスタイル技法、縫製技法などを知る。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	デザイン発想	30	海外トップブランドにてアシスタント経験のある、SHIZEN DESIGNファッションデザイナー カルフォ香奈氏による授業。 ・ヴィジュアルリサーチ、アイデア+デザイン発展、表現を身につける。 ・デザインアイデアをどのようにして発展させファッションにしていけるか研究する。 ・スケッチブックの活用の仕方を学ぶ。 ・自分の得意なことを見つけ、興味の幅や考える力をつける。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	接遇マナーⅠ	30	総合アパレル企業で販売・接客の実務経験があり、現在人材教育コンサルティング企業に所属する板橋聡子氏による授業。 学生と社会人の違いや社会に通じるマナーを理解することで、社会との繋がりを自覚するとともに、いずれ社会人になることへの期待と自信を育てる
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	接遇マナーⅡ	30	総合アパレル企業で販売・接客の実務経験があり、現在人材教育コンサルティング企業に所属する板橋聡子氏による授業。 アパレル業界の最終点、「売れる」ことによる「やりがいと喜び」の実践に向けた基礎知識を学び、消費者に対するマインドやスキルを体得する。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	ポートフォリオ制作	30	海外トップブランドにてアシスタント経験のある、SHIZEN DESIGNファッションデザイナー カルフォ香奈氏による授業。 ・これまで学んだ服飾造形基礎を状況に合わせて応用、展開し、発展する力が身につく。 ・企画構成力が身につく。 ・パターンとトワルを作成しながらシルエットやディテール、テキスタイルの見直しをしてより良い作品にしていくための柔軟性を養う。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	生産企画実習	90	アパレルメーカーにて企画MD・パタンナー経験のある石井裕子氏による授業。工業用パターン・縫製仕様書・縫製依頼書を作り、工場投入を経験する。専門職の知識と技術を高めて、業界入社に備える。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	クリエーション	120	ytt design&couture代表 ファッションデザイナー、ドレスメーカーの高部葉子氏による授業。 ・これまで学んだ服飾造形基礎を状況に合わせて応用、展開し、発展する力が身につく。 ・チームワークにおける企画構成力や判断力が身につく。 ・パターンとトワルを作成しながらシルエットやディテール、テキスタイルの見直しをしてより良い作品にしていくための柔軟性を養う。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	SPA企画	60	ファッションライセンシーやアパレルメーカーにて、企画MD・デザイン・生産管理経験のある菅麻紀氏による授業。 ・差別化困難な「モノ発想」ではなく、「顧客視点」のマーケティング発想とデザイン思考を持ち、ブランドを創造的に考える方法を知る。 また、ブランド商品をビジネスにのせる仕掛けを学習する。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	SPA実習	60	ファッションライセンシーやアパレルメーカーにて、企画MD・デザイン・生産管理経験のある菅麻紀氏による授業。 差別化困難な「モノ発想」ではなく、「顧客視点」のマーケティング発想とデザイン思考を持ち、ブランドを創造的に考える方法を知る。 また、ブランド商品をビジネスにのせる仕掛けが身につく。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	SPA製作	210	ytt design&couture代表 ファッションデザイナー、ドレスメーカーの高部葉子氏による授業。効率的でスピード感を持ったアパレル生産のスキルを習得することができる。また、それにより基礎から応用までの総合的な造形技術と展開力を一段と高めることができる。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	キャリアプランⅠ	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が実施する授業。 ①コミュニケーション能力を高める ②社会人に求められているものを把握する ③就職に対する疑問点、不安感の解消
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	キャリアプランⅡ	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が実施する授業。 ①コミュニケーション能力を高める ②社会人に求められているものを把握する ③就職に対する疑問点、不安感の解消

服飾・家政	ファッションデザイン科	1	産学連携プロジェクト	30	海外トップブランドにてアシスタント経験のある、SHIZEN DESIGN ファッションデザイナー カルフォ香奈氏による授業。 ・リサーチからアイデア発展させデザインを形にする方法を研究 する。 ・自分たちが作るモノを買ってもらう体験して、デザインを売るとい う意識を持つ。 ・地域のイベントに参加し、クリエイションを通して人との関わりを 楽しむ。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	卒業制作企画	60	ファッションライセンスやアパレルメーカーにて、企画MD・デザイ ン・生産管理経験のある菅麻紀氏による授業。 自身のクリエイションを総合的にディレクションし、 アウトプットに到るまで、各プロセスを連動させながら企画する方 法を身につける。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	卒業制作演出	30	ファッションライセンスやアパレルメーカーにて、企画MD・デザイ ン・生産管理経験のある菅麻紀氏による授業。 自身のクリエイションをコンセプトualに魅せる手法を学ぶ。 また多種多様なデザイナーと協同し、ステージスタッフとセッション することで総合的にディレクションする力を身につける。
服飾・家政	ファッションデザイン科	1	ファッションデザイン特別実習Ⅰ	30	K&S PHOTOGRAPH∞フリーランスのフォトグラファー、社団法人 日本写真家協会(JPS)会員の萩原和幸氏による授業。 カメラワークを学ぶことで、作品の撮影方法とともに、モデルとして の写り方を習得。
服飾・家政	ファッションデザイン科	2	ファッションデザイン特別実習Ⅱ	30	K&S PHOTOGRAPH∞フリーランスのフォトグラファー、社団法人 日本写真家協会(JPS)会員の萩原和幸氏による授業。 カメラワークを学ぶことで、作品の撮影方法とともに、モデルとして の写り方を習得。
服飾・家政	ファッションデザイン科	3	ファッションデザイン特別実習Ⅲ	30	アクセサリデザイナーの飯塚智氏、革職人の中村伸明氏、靴職 人の田中克己氏による授業。 扱うファッションアイテムや素材の幅を広げ、より豊かにデザイン 発想し具現化出来る。
ファッションデザイン科				1980	

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	ブライダル基礎A	60	現役ドレスコーディネーター、NPO法人全日本ブライダル協会認定講師 宇佐美 陽美氏、日本グローバル協会認定講師 山本知子氏が実施する。ブライダル業界において基本的な知識を学習し、ブライダルファッションプランナー資格検定取得を目指す。グループ・個人での仕事の違いを把握させる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	ブライダル基礎B	30	NPO法人全日本ブライダル協会認定講師 大橋としみ氏が実施する。儀礼的マナーと調和的マナーを学ぶ。ブライダル会場見学を通してブライダル業界への興味を高め、ブライダルの現場での知識を学習する。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	ブライダルプロジェクト	60	ホテルブライダル、ゲストウェディングの豊富な経験を持つ元ウェディングプランナー 武田裕子氏が実施する。専門性、時代性にあった知識を身につけ、ウェディングコーディネーターとしての提案力を備える。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	化粧品学	30	サロンオーナー スキンケアのスペシャリスト 田中皓子氏が実施する。心、体、肌がすべて健康で美しくいられるようトータルでアドバイスができる。知識を学び実践することにより、信頼される人材になる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	メイク実習 I	120	サロンオーナー、ヘアメイクまでトータルビューティーのスペシャリスト 木嶋年美氏が実施する。スキンケアテクニックからノーマルメイクアップ及びモードメイクアップ、ファッションメイクアップまで完成させる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	メイク実習 II	90	メディカルメイク、エアブラシメイクなど幅広い技術を持たれる岡野訓子氏が実施する。即戦力となる人材として、モデル(相手の方に)の顔分析を行い、テーマ又は必要イメージを適切な技術でメイクアップで表現できる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	ネイル実習	60	現役ネイリスト、認定講師 小出香織氏が実施する。 正しいネイルケアの技術取得 フラットアート/エンボスアートの技術取得 JNECネイリスト技能検定試験取得
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	ネイルアート I	60	現役ネイリスト、認定講師 小出香織氏が実施する。 正しいネイルケアの技術取得 フラットアート/エンボスアートの技術取得 JNECネイリスト技能検定試験取得
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	ネイルアート II	90	サロンオーナー、認定講師 池上清美氏が実施する。JNECネイリスト技能検定試験2級の取得。ネイル関係・美容関係での就職に繋げる。アラモードでの作品展示。就職に繋げるための作品作り。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	ヘア創作実習 I	60	現役ヘアスタイリスト 円城寺 大河氏が実施する。頭の構造から髪の長さを理解し想像力を深める。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	ヘア創作実習 II	60	現役スタイリスト、介護ヘアにも力を注ぐ 前田紗侑里氏が実施する。基礎を生かし想像力を働かせていくなかで 社会性をみにつける行動力を学ぶ。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	アロマセラピー	30	サロンオーナー 癒しのセラピスト 遠藤幾美氏が実施する。体や心の悩みをアロマセラピーを通してセルフケアが出来る。実践ハンドトリートメントをスキルアップし、実践出来る。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	着付け I	30	理容サロンに勤務し着付けも行って実務経験のある、東洋きもの文化学院学院長 守谷豊知氏が日本の伝統文化を実施する。「きもの」の形・名称・畳み方等基礎から進み、着装手順を身につけ自装着つけから着せつけが出来ようになる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	着付け II	30	理容サロンに勤務し着付けも行って実務経験のある、東洋きもの文化学院学院長 守谷豊知氏が日本の伝統文化を実施する。きもの美学は、精神性・装飾性、機能性等が調和して成立させることを実習、技と心のスキルアップを求め、式服(留袖や振袖・色無地・袴姿等)着つけ・着せつけ一般知識及び実技を身につける。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	礼法 I	30	小笠原流礼法宗家本部に勤務し、企業等に対して礼儀や躰の指導を行っている森奈緒子氏が実施する。礼儀作法のこころとかたちの双方を理解し、基本動作をみにつける。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	礼法 II	30	小笠原流礼法宗家本部に勤務し、企業等に対して礼儀や躰の指導を行っている森奈緒子氏が実施する。1年次で学んだ礼儀作法のこころとかたちを身につけ 臨機応変な立ち居振る舞いが出来るようになる。

服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	接遇マナー I	30	大手百貨店にて接客業務およびサービス教育担当として勤務している小笠原智子氏が実施する。適切な言葉遣いができ、5大行動(笑顔・挨拶・大きな声・返事・機敏な動作)が体現できるようになる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	接遇マナー II	30	大手百貨店にて接客業務およびサービス教育担当として勤務している小笠原智子氏が実施する。その状況に応じた適切な言葉遣いができ、お客様・職場の方々に、好感を持っていただけるような5大行動(笑顔・挨拶・大きな声・返事・機敏な動作)が体現できるようになる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	服飾造形 I	30	元ファッション小売企業勤務 武田裕子氏が実技を通し素材や副資材の知識扱いを実施する。直しの技術を身につける。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	服飾造形 II	30	元ファッション小売企業勤務 武田裕子氏が実技を通し素材や副資材の知識扱いを実施する。1年次に学んだ洋裁基礎学習から応用力を身につける。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	色彩学	60	色彩認定協会認定 色彩、UC級講師、大橋としみ氏が実施する。『色彩検定3級』資格取得により、基本的なカラープラン、カラーコーディネートができるようになる。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	1	パーソナルカラー I	30	NPO日本パーソナルカラー協会 認定講師 大橋としみ氏が実施する。色彩の基礎知識に加え『パーソナルカラー理論・診断法』を学習し『パーソナルカラー中級』資格取得を目指す。
服飾・家政	ブライダル・ビューティー科	2	パーソナルカラー II	60	NPO日本パーソナルカラー協会 認定講師 大橋としみ氏が実施する。色彩の一般知識に加え『配色法・パーソナルカラー診断法』を学習し『パーソナルカラーアシスタントアドバイザー』の資格取得によりカラーコーディネートの幅を広げることができる。
ブライダル・ビューティー科				1140	

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	広告概論	30	広告のコピーライターである岡本國治氏が担当する。広告業の仕組みや流れを知り、広告クリエイティブの面白さやトップクリエイターの制作現場を垣間見ること、各自が自分の能力や個性に合わせて、卒業後になりたいクリエイター像を明確にし、当校の3年間で学びに取り組む意欲を高める。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	プレゼンテーション技法	30	デザイン事務所経営の甲賀雅章氏が担当する。デザインの社会的役割とは様々な課題を解決するための極めて有効な手段であることを実感すると同時にデザイナーの可能性を知る。また、事例研究により、世界のデザインの現状を知る。それらを通して、自らに足りない要素を発見していく。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	広告メディア論	30	広告のコピーライターである岡本國治氏が担当する。メディアを知ることは、コミュニケーションの原点を理解すること。「伝え方」を知ること。発信者(企業・商品)や受信者(ターゲット)について知り、何を伝えるかを考え、どう伝えるかを極めること。伝える本質を間違えると、意図する結果＝「伝わる表現」にはならない。この講義では、それぞれの時代背景の中で、どんな広告メディアを使い、どんな表現がされてきたか。実例を蓄積することで、新しい表現を生み出すための「考え方」「表現アイデア」、および自分の気持ちや意図を他者に伝えるコミュニケーション能力を得る。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	知的所有権	30	フリーランスでデザイン業務を行なっている水内章裕氏が担当する。自分の権利を守り、他者の権利を侵害しないよう、知的所有権の知識と意識を持った制作者を目指します。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	デッサン・クロッキー	90	日本画家として活動中の日下氏、または化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽氏が担当する。「立方体・円柱・円すい・球」など基本形の描き方を習得します。形が正確にとれること、明暗法、遠近法、量感、質感の表し方等、身の回りにあるものをモチーフに表現します。テクニックを身に付け、光と影、風、水など、「美」はうつろい変化するものの中にあることを学びます。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	デザイン図学	30	化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽均氏が担当する。完成度及び正確性の高いデザインワークと、多方面から物を見ることを可能とし、デザイナーに必要な技術を習得し、プロの仕事を理解することができる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	立体構成	60	化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽均氏が担当する。平面以外の表現ができるようになる。パッケージデザインに必要な技術を習得できる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	表現研究	60	印刷会社においてグラフィックデザイン業務の経験がある橋本明奈氏が担当する。さまざまな表現方法を習得することで、自分のイメージを具体化する時に適切な表現方法を選択できるようにする。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	デザイン発想	60	デザイン事務所経営の甲賀雅章氏が担当する。センスは知識で磨かれることを知る。そして、アイデアのヒントは身近に溢れていることを実感する。それらを通して、思いつきのデザインではなく、説得性、意味性のあるデザインを習慣づける。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	ビジュアルデザイン I	30	グラフィックデザイナーとして活動している本野智美氏が担当する。視覚的効果の表現力、伝達能力の向上を目指す。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	コミュニケーションデザイン I	60	フリーランスでデザイン業務を行なっている水内章裕氏が担当する。日常生活のなかで普段目にしていないモノや形・色・文字に対して、意識的かつ創造的な視点で認識する態度を身につけ、さまざまな表現の発想法を学習します。また、課題制作のスケジュールを自分で管理を行えるようになることを目指す。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	コミュニケーションデザイン II	30	かつて大手広告代理店に勤務し、現在はイラストレーターとして活動しているちばえん氏が担当する。 ①自分の「得意技」や新しい切り口(斬り口)の発見！ ②発想する楽しさ(『考えるコト』のクセづけ)発想の引き出し増やし。 ③プレゼン<『発表』というコミュニケーション>に慣れる。 ①～③を通し、『生きる力』につなげる。目標『深化』。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	コミュニケーションデザイン III	60	デザイン事務所を営んでいる前田ミネオ氏が担当する。課題に対してあらゆる視点から特長を見いだす力と、表現力に幅ができる。広告の意義・意味を理解し伝えることの大切さを知り、情報を整理する力が身につく。伝えるためのコミュニケーション能力の向上とキャッチフレーズなどのコピーライティング力も養われる。

文化・教養	グラフィックデザイン科	2	コピーライティング	30	地元の静岡でフリーのコピーライターとして活動している北村氏、または村松氏が担当する。 コピーの実習を繰り返しながら、「コピーを「考える・書く・選ぶ」ことの出来るデザイナーになることを目指す。キャッチフレーズが書ける・もしくは選べるようになること。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	イラストレーション I	60	フリーのイラストレーターとして活動している山田ケンジ氏、フリーで広告漫画の制作活動をしている田中義己氏が担当する。パースペクティブの基本的な作図理論と制作方法を学び空間認識力の基礎を身につける。画材(コピックライナー、コピック、色鉛筆を使用予定)の基本的な使い方を身につける。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	タイポグラフィー I	30	かつて広告デザイン事務所を経営し、現在はフリーのデザイナーとして活動している池田仁氏が担当する。デザインの視野を広め、タイポグラフィーの可能性を追求。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	レイアウト演習	30	グラフィックデザイナーとして活動している本野智美氏が担当する。 効果的なレイアウトのルールを習得し、デザインの流れを実際に自分の目や手で体感～認識することにより、レイアウトの基礎能力をあげる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	写真 I	60	フリーカメラマンの萩原和幸氏、及び萩原一浩氏が担当する。自分で撮影した写真をプリントして、客観的な評価を基に他人に伝わる写真を撮る。 デジタル一眼レフを使用しての撮影写真の基礎的知識と露出(シャッタースピードと絞りの関係)の理解
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	デザインアプリケーション I	120	グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏または九島氏が担当する。 デザイン系ソフト、Illustrator、Photoshopの基本操作を習得する。モバイルコンテンツ制作の基礎と、制作ツールのオペレーション能力を身に付ける
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	DTP演習 I	30	印刷会社においてグラフィックデザイン業務の経験がある橋本明奈氏が担当する。 印刷物におけるさまざまなテーマの制作物にチャレンジすることで、デザイン制作における制作力の定着と応用力を見つける。また、たくさんの印刷物を見ることで、視野を広げ、アイデアの引き出しを増やす。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	Web基礎	90	フリーのWebデザイナーとして活躍している大村道彦氏、または遠藤次郎氏、または宮崎宏治氏が担当する。 検定問題によるテストや課題制作を通じて、HTML・CSSの基礎力を深めていく。 単ページ～小規模ウェブサイト構築が出来るようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	Web実践	90	フリーのWebデザイナーとして活躍している大村道彦氏、または遠藤次郎氏、または宮崎宏治氏が担当する。 課題制作を通じて、HTML・CSSをより理解でき、実践的なウェブデザインの能力・技術を習得する。小・中規模ウェブサイト構築までが制作出来るようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	セールスプロモーション	30	グラフィックデザイン事務所を経営している杉本光俊氏が担当する。 販促促進やマーケティングについての考え方を理解する。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	ポートフォリオ制作	30	印刷会社においてグラフィックデザイン業務の経験がある橋本明奈氏が担当する。 希望就職先の傾向や、コースごとの特徴に合わせたポートフォリオ制作で、就職活動で活用していく作品集を完成させる。 まとめ方の方法やスキルを身につける。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	ユニバーサルデザイン	30	グラフィックデザイナーとして活動している本野智美氏が担当する。ユニバーサルという視点で世の中を見る事で、誰が何を必要としているのかを考える。また、これからの社会にはどんなデザインや仕組み、概念が必要であるのか、それを実現させるにはどうしたら良いのかを研究するプロセスを学ぶ。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	メディアユニバーサルデザイン	30	グラフィックデザイナーとして活動している本野智美氏が担当する。前半の「ユニバーサルデザイン」で習得した知識や情報を実際の形に可視化するコンペティションへ作品を出品する事で、学びを挑戦に変える。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	ビジュアルデザイン II	30	グラフィックデザイン事務所を経営する黒住政雄氏が担当する。 グラフィックデザインを制作するにあたってのデザインソフト数種類のオペレーション及びPCの最低限のテクニック習得。またその前段であるアイデア創出やクライアントとのコミュニケーション能力向上を反復練習により習得。半歩でも1歩でも生徒の意識改革が進み、個人意識向上を目指す。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	タイポグラフィー II	30	かつて広告デザイン事務所を経営し、現在はフリーのデザイナーとして活動している池田仁氏が担当する。タイポグラフィーで表現出来るデザインの可能性を知る。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	アドバタイジング I	60	コピーライターの松永志郎氏と、グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏2名体制で担当する。 啓蒙広告に取り組むことで社会と向き合う力を養う。情報収集のやり方・企画から表現に着地させるプロセスを体験と広告の構築力を身につける。

文化・教養	グラフィックデザイン科	2	アドバタイジングⅡ	30	グラフィックデザイン事務所を経営する前田ミネオ氏が担当する。 毎日広告デザイン賞入賞を目指して広告としての斬新な考え方やデザイン表現学び、作品完成までの制作過程を実践的に体験することで、物事に対する視野が広がり洞察力が芽生える。賞に応募することで自身のデザイン力を客観的に知ることができる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	CI	30	グラフィックデザイン事務所を経営する杉本光俊氏が担当する。 CIの意図、法的内容、制作方法を習得する。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	パッケージデザインⅠ	30	化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽均氏が担当する。 発想やコンセプトから制作、プレゼンテーションまでのデザインプロセスを演習課題を通して経験し実行できるようになる。様々な形態のパッケージの構造を理解し、作成できるようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	パッケージデザインⅡ	30	化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽氏が担当する。卒業制作などの作品に応用できる、完成度の高い作品を制作できるようになる。パッケージを応用した、パッケージ以外の作品への応用ができるようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	デザインアプリケーションⅡ	60	Webデザイナーの宮崎宏治氏が担当する。 InDesignの基本操作を習得する。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	DTP演習Ⅱ	30	グラフィックデザイナーとして活動している本野智美氏が担当する。 実習課題としてDTPソフトを使用し、テーマに沿った物を制作。印刷物に必要な知識・技術を習得する。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	エディトリアルデザイン	90	印刷会社においてグラフィックデザイン業務の経験がある橋本明奈氏が担当する。 企画から取材・原稿整理及び管理・印刷手配まで全てを行うことで、雑誌制作のノウハウを理解する。現場と同様のグループワークの勉強ができる。InDesignをはじめとしたillustrator、Photoshopの基本操作の定着。外部の人と接することでの社会人としての話し方、接し方を学ぶ。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	イラストレーションⅡ	30	フリーのイラストレーターとして活動している山田ケンジ氏が担当する。 発想する感性とそれを視覚化するための各種画材の基礎技法を身に付ける。デッサン力の向上。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	イラストレーションⅢ	30	フリーのイラストレーターとして活動している山田ケンジ氏が担当する。 画材の使い方をより深く学び、それぞれの特性を理解し作品制作に生かす。F6サイズのパネルまたはキャンバスで作品制作、テーマに沿った作品を制作しデザインファームで展示会。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	デジタルイラスト	30	フリーのイラストレーターとして活動している山田ケンジ氏が担当する。 ・より直感的な制作ができる液晶タブレットを使用しデジタルイラストレーション制作の技術を身につける。 ・PhotoShopをメインに使用。ブラシやテキストのカスタマイズ法を学び、それぞれの効果や表現の違いを体感し自分に合った設定を探る。 ・授業終盤 ポストカード作品の制作(実際に各自30~50枚の印刷予定) 現在の漫画やゲーム・アニメ系のイラストレーション制作の技術を習得。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	キャラクターデザインⅠ	30	クリエイティブの川内祐司氏が担当する。 思考方法の確立と、それに伴う思考と技術の立体把握ができるようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	コミックイラスト	30	イラストレーターの藤井英俊氏が担当する。 今のコミック系イラストレーションの作画技術習得。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	写真Ⅱ	30	フリーカメラマンの萩原一浩氏が担当する。 自分で撮影した写真を基に DM ポストカード等のレイアウトを行い作品を造ってみる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	写真Ⅲ	30	フリーカメラマンの萩原和幸氏が担当する。 撮影方法と判断・現場の作り方、展示で写真の見せ方を学習。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	現像技術	30	グラフィックデザイン事務所を経営する杉本光俊氏が担当する。 現像ソフトを使う技術。適切な補正方法、合成・修復方法を習得する。

文化・教養	グラフィックデザイン科	3	コマーシャルフォト	30	フリーカメラマンの萩原一浩氏が担当する。 多灯のストロボを使い、物の立体感や質感を出し1灯では出来なかった物の質感及び立体感を表現する
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	ファッションフォト	30	フリーカメラマンの萩原和幸氏が担当する。 撮影方法と判断・現場の作り方を感じとれるようにする。 ストロボ1灯で物の立体感や質感を出し、三次元を二次元にした時の表現を考える。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	3Dデザイン	60	CGクリエイターの安本精治氏が担当する。 3DCGによるモデリングに必要な基本的な技術の習得しポートフォリオで効果的な作品を表現出来るようにする。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	映像演出	60	かつてはグラフィックデザイン事務所に勤務し、現在は映画制作活動を行なっている海野洋二氏が担当する。ACジャパン広告学生賞の応募を目指し、演出から生まれるアイデア、映像編集を学ぶ
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	音楽演習	30	かつて音楽コンテンツ制作会社に勤務し、現在はフリーでラジオ番組ディレクターを務めている大畑秀人氏が担当する。最終課題(映像作品のオーディオトラックを制作する)において、自分のアイデアなどをどこまで表現できるのか。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	クレイアニメーション	60	クレイアーティストの川内祐司氏が担当する。 クレイアニメーションに必要な企画から編集までの総合的取り組みを学ぶ。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	インタラクティブデザイン	60	【映像】CGクリエイターの深野氏が担当する。 映画、CM、アニメ、ゲームなど広い分野で国内外で広く使われている3DCGツール「Maya」(マヤ)のモデリング(立体造形)ができるようになることを目標とする。 【Web】Webデザイナーの宮崎氏が担当する。 現在習得しているHTML・CSSの基礎の理解を深め、2年間の学習成果をポートフォリオサイトにまとめ、就職活動のツールとして役立てる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	モバイルコンテンツ制作	60	Webデザイナーの大村道彦氏が担当する。 スマートフォンやタブレットなどに対応したデジタルコンテンツを制作出来るようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	CM制作	60	映像ディレクターの中野康弘氏が担当する。 オンエアする「静岡デザイン専門学校」TVCMの制作を通して、商業的な作品を制作し、一貫した映像制作の流れの理解をする。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	Webプログラミング	60	Webデザイナーの大村道彦氏が担当する。 HTML・CSS、Javascriptを用いて、インタラクティブなコンテンツが制作出来るようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	Webゼミ	60	Webデザイナーの大村道彦氏が担当する。 小～中規模のウェブサイトの制作、CMSを使用したウェブサイト構築ができるようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	映像ゼミ	60	デジタルコンテンツディレクターの竹島瑞樹氏が担当する。 映像で表現する際の引き出しを増やし、伝えたいことを明確にし視聴者に伝えること。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	ストーリー構成 I	30	漫画家のごとう和氏が担当する。 頭に浮かんだ「漠然」とした「思い」「ストーリー」をどうやって原稿用紙に落とし込むかを学び「思い」が「カタチ」になっていく事を体感・実感！！
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	ストーリー構成 II	30	CMディレクターの望月伸晃氏が担当する。 CMのみならずグラフィックや造形にも通づる、表現変換の基礎を習得する
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	マンガ技法	60	フリーで広告漫画の制作活動をしている田中義己氏が担当する。 8Pのストーリー漫画を完成させる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	背景画	30	フリーで広告漫画の制作活動をしている清水めぐみ氏が担当する。背景の基礎知識を身につけ、背景画を描く。

文化・教養	グラフィックデザイン科	2	マンガ制作 I	60	フリーで広告漫画の制作活動をしている清水めぐみ氏、及びイラストレーター東京モノノケ氏が担当する。クライアントを設定した単ページの漫画制作を通して、広告ツールとしての漫画の制作過程を学び、ターゲット層を意識した漫画作りのスキルを身につける。2Pの広告マンガを完成させる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	マンガ制作 II	30	フリーで広告漫画の制作活動をしている斎藤茂紀氏が担当する。コミスタをペンタブレットを使って操作。基本的な操作から応用まで少数ページのマンガを描きながらオペレーションしていく。マンガ学科の生徒はアナログ指向が強い生徒が多いのでデジタルでマンガを描く便利さを体感し、デジタルへの興味を持ってもらう。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	マンガ制作 III	90	フリーで広告漫画の制作活動をしている斎藤茂紀氏が担当する。漫画制作2で学んだ技術の復習。新たに便利な使い方などを指導。実際のさいとうの描いた原稿を元にレイヤーの構成などを利用して作り方を学ぶ。広告漫画を描くにあたり守るべきことなど説明。その後オリエンテーションで学校側からの依頼に沿ったマンガをデジタルでカラーで描く。デジタルの利点を学び体得出来るようにする。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	サインデザイン	30	化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽均氏が担当する。世の中に多く存在する様々なサイン・表示の目的や、使用方法を習得する。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	映像制作	30	映像ディレクターの中野康弘氏が担当する。映像編集ソフト、AfterEffects、Premiere Pro等の操作方法を習得。映像の企画、制作、放映まで全体の流れを勉強できる。またショー担当の学生をクライアント設定し学生同士が折衝をしてコミュニケーション能力を養える。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	キャリアプラン I	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が実施する授業。 ①ビジネスマナー検定3級の合格 ②社会人としての基本的マナーを身につけコミュニケーション力をつける ③自己分析・自分らしさの発見とスキルアップ ④就職に必要な提出書類の作成→文章力の強化
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	キャリアプラン II	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が実施する授業。「自分自身を知ること」と個々の就職に対する意識を高める。チームビルディングワークから仕事の進め方及び個々の役割分担を知る。(グループ面接に備える)コミュニケーション能力を強化することを重視し、自己PRを実践で練習する。具体的な就職活動の時期を迎えて、就職活動のポイントを再確認しながら具体的な活動に活用できるようにする。<目標> 内定取得
文化・教養	グラフィックデザイン科	1	産学連携プロジェクト I	30	グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏ほかが担当する。デザインアプリの総集編として、地域と連携した実際の制作物に取り組む。クライアントの希望を読み取ったデザイン制作を行う力をつけ、デザイン制作におけるスケジュール管理を学ぶ。また、デザインアプリで学んだillustrator、Photoshopのデザイン系ソフトの使い方の習熟度を高める。
文化・教養	グラフィックデザイン科	2	産学連携プロジェクト II	60	化粧品メーカーにおいてデザイン業務の経験がある鳥羽氏等が担当する。基礎学習を活かし、学校外部の方に対して企画～納品までが出来るようになる。イベントの企画やデザインの制作を通じて、地域の活性化を目指す。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	産学連携プロジェクト III	60	グラフィックデザイン事務所を経営する黒住政雄氏が担当する。クライアントからの依頼である各種広告媒体を制作する。実践を通してコンセプトワークから制作、完成までを一貫して学ぶ。デザイン開発の50%以上は、リサーチ、分析、コンセプトの抽出、つまり考えることにある。ここがブレると、先進的なアイデアも効果ある表現も出てこないことを身を以て覚える。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	卒業制作テーマ研究	30	グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏ほかが担当する。学校で学んだ全ての学習内容を活かし、社会に通じる商業的デザインの企画を組み立てられるようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	卒業制作	150	グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏ほかが担当する。学校で学んだ全ての学習内容を活かし、社会に通じる商業的デザイン表現・提案を行えるようになる。
文化・教養	グラフィックデザイン科	3	卒業制作展示計画	60	グラフィックデザイナーの草ヶ谷あつみ氏ほかが担当する。制作したデザインを効果的に伝える方法を検討し、魅力的に展示することができるようになる。
グラフィックデザイン科				3390	

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	デッサン	60	現役日本画家の日下文氏が担当する。 「立方体・円柱・円すい・球」など基本形の描き方を習得する。形が正確にとれること、明暗法、遠近法、量感、質感の表し方等、身の回りにあるものをモチーフに表現する。対象をよく観察し、テクニックを身に付け、光と影、風、水など、「美」はうつろい変化するものの中にあることを学ぶ。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	アイディアスケッチ	60	家電メーカー、化粧品メーカーでプロダクトデザイナーを務めていた大森仁氏と雑貨デザイナー/木版画家の安富万里子氏が担当する。 レタリング技能検定試験3級(2級)取得への挑戦を通して文字の基本を理解する。また、手描きスケッチ・メーカーテクニックを習得し、いずれは自分に合った画材を選択しながら個々のスケッチスタイルを身につけていくことを目指す。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	デザイン図学Ⅰ	60	家電メーカー、化粧品メーカーでプロダクトデザイナーを務めていた大森仁氏が担当する。 ・正確で美しい作図の習得 ・基本作図法の習得 ・三角図法による三面図の作図・立体を把握し二次元図面で正確に表現する力をつける。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	デザイン図学Ⅱ	30	デザイン事務所「環プロダクト」代表でプロダクトデザイナーの吉川秀男氏が担当する。 ・正確で美しい作図の習得 ・基本作図法の習得 ・三角図法による三面図の作図・立体を把握し二次元図面で正確に表現する力をつける。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	平面構成	60	雑貨デザイナー/木版画家の安富万里子氏が担当する。 表現力・発想力の向上と画材選択の幅を広げることができる。講評会では学生間のコミュニケーションも大切に、個々のもつ感覚を発見しながら伸ばすことも目標とする。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	伝統技法	30	駿河和染めの職人である鷲巢恭一郎氏が担当する。 新しい素材や技術の進歩が著しい現代のモノづくりに対して、一体なんのためにモノを作るのか・・・自分の中に明快な答えを持ちデザインすることができる。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	塑像	60	彫刻家である登坂真澄氏が担当する。 1: 自然物の美しさに触れ、其の物が持つ構造、機能性、必然性を知る。 2: 360度からの視点、観察力を身につけ、立体物を理解する。 3: 水平軸、垂直軸の基準概念を身につけ、GLでの存在関係を理解する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	立体構成	60	イラストレーター、造形作家として活躍している山田憲司氏が担当する。 空間認識力、デッサン力を身につける。立体制作技法の基本を身につける。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	色彩学	60	色彩認定協会認定 色彩、UC級講師、大橋としみが担当する。 色彩検定3級資格取得、基本定期カラープラン・カラーコーディネートができる。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	国際化論	30	ミラノのデザイン事務所での勤務経験があり、現在はデザイン事務所「atelier Su」の代表。伝統的工芸品産地プロデューサーとしても活躍している鈴木啓子氏が担当する。 日本固有の文化や美意識を客観的にとらえ、国際的にみた現代日本に対する評価を認識し、又、文化の多様性を理解したうえで、実習課題を通してデザインにおける国際的な視点や考え方を学ぶ。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	デザイン発想Ⅰ	60	ソーシャルデザイン研究所を運営しているアートディレクターの甲賀雅章氏が担当する。 デザイン開発にとって必要なCreative思考を身につけ、柔軟な発想力を高めることを目的とする。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	デザイン発想Ⅱ	30	デザイン事務所に勤務しているプロダクトデザイナー西田悠真氏が担当する。 現役デザイナーの外部講師により、プロダクトデザイナーの発想法や観点を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	ユニバーサルデザイン	60	デザイン事務所「サルカワデザイン」代表でプロダクトデザイナーの猿川雄一氏が担当する。 日常生活の中から、ヒトとモノ、ヒトと環境に関する問題点を抽出し、各自のテーマに沿った具体的デザインを試みてユニバーサルデザインの理解を深め、さらに自分の考えを検証作業を行うことにより確認する。同時にデザインプロセスを学び、プレゼンテーション技術を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	シューズデザイン	30	企業内のデザイン部門でプロダクトデザイナーを務めた保科康浩氏が担当する。 足の構造に関する基礎知識、足に起こるトラブルの原因と対策方法の知識、履物の製作に関する基本的な知識を習得する。

文化・教養	プロダクトデザイン科	3	家具デザイン	30	デザイン事務所「環プロダクツ」代表でプロダクトデザイナーの吉川秀男氏が担当する。 ・自らのコンセプトを形にまとめる力を養う。 ・自らの作業工程をコントロールし実現する。 ・コンセプトを第三者に理解してもらおうプレゼン能力を養う。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	ホビーデザイン	60	デザイン事務所「アクセス」代表でプロダクトデザイナーの杉田光臣氏が担当する。 プロダクトデザインに必要な使い易さ、デザインの魅力を形で表現する。図面から、より正確にモデリング製作に結び付ける。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	雑貨デザイン	30	雑貨デザイナー/木版画家の安富万里子氏が担当する。 雑貨をデザインするために自分の周りにあるヒントを発見し、実際に試作・検討をする。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	インダストリアルデザイン	60	デザイン事務所「サルカワデザイン」代表でプロダクトデザイナーの猿川雄一氏が担当する。 人間中心のデザインを学ぶことにより、その後のデザイン活動における大事な基礎の一部分を築く。そしてグループワークでデザインプロセスを学ぶことによりコミュニケーション能力などを高め、さらにグループの考えを検証作業を行うことにより自分たちの考えを確認する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	クラフトデザイン	30	一般社団法人 まち・文化研究所で代表理事を務め、クラフトで地域活性化プロジェクトに携わるデザイナー森田みか氏担当する。 伝統工芸を知る。伝統工芸の考え方を学ぶ。伝統工芸をクラフトデザインへ変化させる過程を学ぶ。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	プラスチック成型	60	様々な素材を扱い彫刻を製作する彫刻家大村富彦氏が担当する。現在多方面で使用されている2枚34種類の樹脂を知り、その12方法の成形方法の中から、3～5種類の技法を学習し、習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	パッケージデザイン	30	デザイン事務所でグラフィックデザイナーを務めた本野智美氏が担当する。 素材の持つ、目に見えない「価値」や「イメージ」に姿を与え、「可視化」するデザイナーの在り方を目標着地点とし、プロダクトにおけるパッケージデザインの発想法を学ぶ。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	デザイン知識	30	デザイン事務所「環プロダクツ」代表でプロダクトデザイナーの吉川秀男氏が担当する。 道具＝プロダクトデザインの持つ機能性や、住環境との関係性などデザインに求められることがいささかでも理解されれば、実社会でのアドバンテージとなることが期待できると考えられる。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	素材演習 木Ⅰ	30	クラフトフォーハンスを経営している木工職人の平松高典氏が担当する。木材の種類の違いを知り、その生産現場の様子を知り、木材の乾燥方法の特性を学ぶこと。それにより木を素材として扱う場合に適さぬ木材を選択できるようになる。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	素材演習 木Ⅱ	90	クラフトフォーハンスを経営している木工職人の平松高典氏が担当する。 Ⅰ 素材である「木」の範囲を木質系材料である合板まで広げ、これも含め素材を体系的に捉えていく。Ⅱ (1年次の「木Ⅰ」に比し)より広範な道具の使用法および木材加工方法を実践的に学ぶ。 Ⅲ (関連科目と通して)はじめのスケッチが、幾つもの模型や図面へと変化してゆくなか、厳しく検討が加えられ、そして作業場でもかたち作られてゆくプロセスを経験する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	素材演習 ガラスⅠ	30	創造工房を営み、ガラス加工の指導員をしている漆畑真幸氏が担当する。 建築・雑貨・生活用品等の多くの場での需要・活用が多い「ガラス」を、素材として知ることができる。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	素材演習 金属Ⅰ	30	アクセサリーデザイナーの飯塚智氏が担当する。 金属(真鍮)の板を加工しネームプレートを制作する。真鍮板を切る、削るという基本的な加工技術を理解、習得するとともに金属の特性を理解する。銀のペンダントの原型制作をし、金属の鑄造工程の基本を理解する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	素材演習 金属Ⅱ	30	アクセサリーデザイナーの飯塚智氏が担当する。 銀アクセサリーデザイナーの飯塚智氏による授業。地金を加工し指輪を製作する。身につける金属製品を作ることにより、実践的な造形力を身につける。素材としての金属をより理解し、技術面でのスキルアップを目指す。ワックスによる銀製品も製作し、鑄造工程をより理解し実践する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	デザインアプリケーションⅠ	120	デザイン事務所でグラフィックデザイナーを務めた本野智美氏が担当する。 デザインの現場で必須アプリであるデザイン系ソフト、Illustrator、Photoshopの基本操作を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	デザインアプリケーションⅡ	30	デザイン事務所でグラフィックデザイナーを務めた本野智美氏が担当する。 PCを使用したグラフィックデザイン応用力の習得。専門スキルとの連動として、プロダクト製品とエンドユーザーをつなぐ、コミュニケーションツール(メインビジュアル・ロゴタイプ・パンフレットなど)の制作や指示ができるデザイナー育成を目指す。

文化・教養	プロダクトデザイン科	1	デザインCAD I	60	家電メーカー、化粧品メーカーでプロダクトデザイナーを務めていた大森仁氏が担当する。 3DソフトウェアSolidWorksのオペレーションを習得する中で、より高度な製品図面の描画を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	デザインCAD II	60	静岡県工業技術研究所において3DCADソフトSolidWorksのインストラクターを務めている望月達也氏が担当する。 CADソフトのオペレーションを習得する中で、より高度な製品図面の描画を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	デザインCAD III	30	企業内のデザイン部門でプロダクトデザイナーを務めた保科康浩氏が担当する業。 3DCADソフトThinkDesignのオペレーションを学習する中で、より高度な製品図面の描き方を習得する。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	ポートフォリオ制作 I	30	デザイン事務所でグラフィックデザイナーを務めた本野智美氏が担当する。 自分の情報を伝える手段として、就職面接の際に実践的に活用できるポートフォリオの制作手法を身に付ける。
文化・教養	プロダクトデザイン科	2	キャリアプラン II	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が担当する。 ①コミュニケーション能力を高める ②自分らしさの発見とスキルアップ ③ビジネスマナー検定対策 ④就職に必要な書類作成と就職活動の進め方を身につける
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	キャリアプラン III	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が担当する。 ①文章力を含めたコミュニケーション能力を高める ②社会人意識を身につける ③就職に対する疑問点、不安感の解消 ④実践力をつける
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	卒業制作	300	家電メーカー、化粧品メーカーでプロダクトデザイナーを務めていた大森仁氏と雑貨デザイナー/木版画家の安富万里子氏が担当する。 色々な意味において大きくジャンプできる授業である。中途半端な気持ちではなく、苦しみと喜びを体感できることが最大の成果である。作品の研究・制作を通して、記憶と記録を残すことはやがて社会人となって振り返った時、かけがえのない大きな財産を得たと実感できるはずである。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	卒業制作/マーケティング	30	企業内でマーケティング部門に所属する土屋香美氏担当する。 「モノ」と「コト」の新しい価値を提案する「ライフスタイル提案シート」を作成、発表する。 ・実際の学科の活動で、この授業の学びの活かし方を考える。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	卒業制作/制作知識	60	企業内のデザイン部門でプロダクトデザイナーを務めた保科康浩氏と雑貨デザイナーであり、木版画家でもある安富万里子氏が担当する。 予め素材の知識、加工の知識及び実践を経験することにより卒業研究をより幅が広くより深いものにしていく。
文化・教養	プロダクトデザイン科	1	産学連携プロジェクト I	30	家電メーカー、化粧品メーカーでプロダクトデザイナーを務めていた大森仁氏が担当する。 外部で開催されるイベントに目的に合わせたインスタレーションを制作。発案から製作、設置までをクラス全員で力を合わせて作り上げる大切さと難しさを習得。
文化・教養	プロダクトデザイン科	3	産学連携プロジェクトIV	60	家電メーカー、化粧品メーカーでプロダクトデザイナーを務めていた大森仁氏が担当する。 企業と共同開発を目指し、発案から製作した作品を外部企業にプレゼンテーションすることで、よりリアルで客観的な評価を受けることができ、スキルアップを習得。
プロダクトデザイン科				2100	

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
文化・教養	インテリアデザイン科	1	色彩学	60	色彩認定協会認定 色彩、UC級講師、大橋としみ氏が担当する。 『色彩検定3級』資格取得により、基本的なカラープラン、カラーコーディネートができるようになる。
文化・教養	インテリアデザイン科	2	空間デザインA(建築法規)	30	1級建築士事務所代表の中野年浩氏が担当する。 建築基準法を中心に基本となる法令等について学習する。建築物は新築するときに限らず、増築・改修や用途変更などにおいても確認しなければならない項目があり、演習などを通じてこれらを学ぶ。
文化・教養	インテリアデザイン科	2	空間デザインB(建築生産)	30	1級建築士事務所代表の小沼勝也氏が担当する。 エクステリアプランナー3級程度の知識を身に付ける学習。
文化・教養	インテリアデザイン科	3	ポートフォリオ制作	30	現役のグラフィックデザイナーの本野智美氏が担当する。 2年次に制作したポートフォリオをさらにクオリティアップさせ、就職面接の際に実践的に活用できるポートフォリオの最終完成を目指す。
文化・教養	インテリアデザイン科	3	プレゼンテーション技法	30	インテリアコーディネーターの岩崎京子氏が担当する。インテリアコーディネーター2次試験対策にも繋がり、美しく見やすい正確なインテリア図面が描くスキルを習得する。
文化・教養	インテリアデザイン科	1	キャリアプラン I	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が担当する。 ①文章力を含めたコミュニケーション能力を高める ②社会人意識を身につける ③就職に対する疑問点、不安感の解消 ④実践力をつける
文化・教養	インテリアデザイン科	2	キャリアプラン II	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が担当する。 ①コミュニケーション能力を高める ②社会人としての基本的マナーを身につける ③ビジネスマナー検定対策 ④ワード、エクセル、パワーポイントの基本操作ができるようになる
文化・教養	インテリアデザイン科	3	キャリアプラン III	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が担当する。 ①コミュニケーション能力を高める ②自分らしさの発見とスキルアップ ③ビジネスマナー検定対策 ④就職に必要な書類作成と就職活動の進め方を身につける
文化・教養	インテリアデザイン科	1	産学連携プロジェクト I	60	インテリアコーディネーターの岩崎京子氏と1級建築士事務所代表の小沼勝也氏が担当する。 クライアントからの要望を聞き取り、その要望に応じたインテリアデザインを行う。
文化・教養	インテリアデザイン科	2	産学連携プロジェクト II	30	インテリアコーディネーターの岩崎京子氏が担当する。 商品開発やイベントなどを実際に手掛ける。社会の中でデザイン力を活かす。
文化・教養	インテリアデザイン科	2	産学連携プロジェクト III	30	インテリアコーディネーターの岩崎京子氏が担当する。 クライアントから要望を聞き取り、それを叶える為の提案を行う。
インテリアデザイン科				390	

実務経験のある教員による授業科目一覧

分野	学科	学年	科目名	時間	内容
文化・教養	フラワーデザイン科	2	カラーイメージ	30	ハーブとアロマのお店を経営し、カラーイメージアナリスト、アロマテラピスト他、数多くの資格を持つ森野裕子氏が担当する授業。 アロマテラピーテーマ別、対象別に的確な花材を選び、リボン・ラッピングに至るまでトータルにコーディネートできるようにイメージ配色テクニックを磨き、お客様が想う色彩イメージを形にできるようになる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	園芸福祉	30	フラワーサロンと小規模ディサービスを運営している田島和子氏が担当する授業。 園芸福祉、園芸療法という言葉が社会に広まる中、知識を持っていることで社会に出ての自信になる。老人ホームでの実習体験を活かし、高齢化社会で活躍する人材になる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	フラワーアレンジメント I	90	フラワーショップを経営し、フラワーアレンジメント教室で指導しているフローリスト増田博氏による授業。 生花フローリストとして必要な知識をや技術を身に付けることができ、オリジナリティ豊かな作品を制作することができる。
文化・教養	フラワーデザイン科	2	フラワーアレンジメント II	60	フラワーショップを経営し、フラワーアレンジメント教室で指導しているフローリスト増田博氏による授業。フローリストとして必要な知識をや技術を身に付けることができ、オリジナリティ豊かな作品を制作することができる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	フラワー装飾法 I	60	フラワーショップを経営し、フラワー装飾一級技能士の資格を持つ久保田広樹氏による授業。 花束・ラウンドアレンジメント・フラワーリボン・ブートニアなどの基礎知識を身につけ基本的な事ができる。
文化・教養	フラワーデザイン科	2	フラワー装飾法 II	60	フラワーショップを経営し、フラワー装飾一級技能士の資格を持つ久保田広樹氏による授業。 国家検定フラワー装飾3級の技術を身に付け合格できるようになる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	植物知識	30	園芸店を営みグリーンアドバイザー園芸ソムリエの資格を持つ設楽和男が担当する授業。 植物に携わる者として相互依存・相互扶助の意識を持って仕事に努め、現代社会に貢献できる知識と精神を習得できる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	園芸 I	60	園芸店を営みグリーンアドバイザー園芸ソムリエの資格を持つ設楽和男が担当する授業。 四季の植物の育て方と用土、肥料など園芸基礎を学ぶ事によりお客様からの園芸相談や商品解説を時代に合った方法、言葉で解説でき実習作業でより理解も深まるようになる。又、新しい園芸の楽しみ方の提案もできるようになる。
文化・教養	フラワーデザイン科	2	園芸 II	60	園芸店を営みグリーンアドバイザー園芸ソムリエの資格を持つ設楽和男が担当する授業。 お客様との対話の方法がわかり、プロとして自覚を持てるようになる。また、花壇作りの手順と年間管理がわかるようになる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	フラワービジネス論	60	園芸店を営みグリーンアドバイザー園芸ソムリエの資格を持つ設楽和男が担当する授業。フラワービジネスの基本知識の習得。産地生産、市場流通、経営、マーケティングの基礎的な知識を身につけることができる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	接客技術	30	実家が園芸店を営んでおり、その経験と、若い頃に、結婚式の司会業も数多くこなし、グリーンアドバイザーの会等で司会をするなど、経験は豊富。フラワーショップの販売員としての基礎知識を習得できる。授業を通じてコミュニケーションスキルを向上する。人前でも臆することなく自信を持って堂々と話ができるようになる。美しい立ち居振る舞いができる。正しいかつげつ、正しい敬語を使い、好印象を与える接客ができる。
文化・教養	フラワーデザイン科	1	セールスプロモーション	30	フラワーサロンと小規模ディサービスを運営している田島和子氏が担当する授業。プロモーションとマーケティングの関連の基礎。 小売店舗における販売促進の基本的手法と重要さの理解。 店舗出店する際に、必要とされる販売促進ツールのひとつポスター、チラシのデザインを制作する。ショップコンセプトが反映され、より集客につながる表現方法を学ぶ。
文化・教養	フラワーデザイン科	2	生け花	60	お茶とお花の家元であり、長年、生け花協会会長である講師や、何年もその流派の静岡県支部長である講師もいる。一花一葉のもつ花の美しさから、花材そのものの性質をいかした様々なバリエーションまで、花そのものを多方面から扱えるようになる。
文化・教養	フラワーデザイン科	2	ショップ経営	30	公認会計士の資格を持つ松本真由美氏が担当する授業。 店舗運営に必要な売上・仕入と在庫、利益等、計数管理に関する基本知識を習得する
文化・教養	フラワーデザイン科	1	キャリアプラン I	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が実施する授業。 コミュニケーション能力を高め、社会人としての基本的マナーを身につけ、自分らしさの発見とスキルアップし、就職に必要な提出書類作成方法を学ぶことができる。

文化・教養	フラワーデザイン科	2	キャリアプランⅡ	30	NPO法人 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員の太田稔子氏が実施する授業。 コミュニケーション能力を高め、社会人に求められているものを把握し、就職に対する疑問点、不安感の解消する力を養うことができる。
フラワーデザイン科		合計		750	